

# 漁海況月報

令和2年11月1日

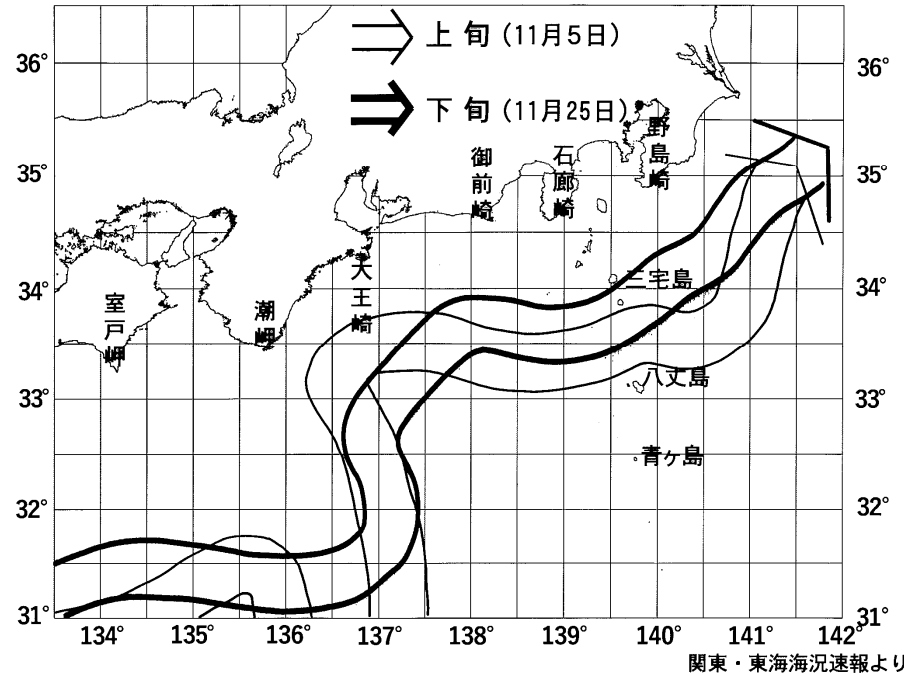
No. 11 ~11月30日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

11月定地水温の旬平均値( ) (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.7	22.0	21.3	21.7	21.4	21.4
	1.6	1.3	1.1	0.7	1.2	1.6
中旬	20.8	20.5	20.2	20.6	20.2	20.1
	1.6	0.7	1.0	0.3	0.7	1.2
下旬	19.8	20.0	19.7	20.8	20.1	19.5
	1.5	1.1	1.3	1.6	1.5	1.5
月	20.8	20.8	20.4	21.0	20.6	20.4
	1.6	1.0	1.1	0.9	1.1	1.5

\*地頭方の水温観測は終了しました。

## [黒潮流路]

潮岬を大きく離岸し、熊野灘から遠州灘沖まで北上し、三宅島付近を通過して北東へ流去した。

上旬は29°N付近まで南下した後、熊野灘沖を北上し、遠州灘沖を東流する流路となり、熊野灘～遠州灘、駿河湾、大島東西水道に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬沖から石廊崎沖へ北上する流路となり、熊野灘～遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬沖を東流した後、御前崎沖まで遠州灘を北上する流路となり、熊野灘～遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

## [県下沿岸域]

上下旬は稲取、下田、雲見、沼津で「やや高め」、伊東、焼津で「高め」であった。中旬は雲見で「平年並」、稲取、下田、沼津、焼津で「やや高め」、伊東で「高め」であった。

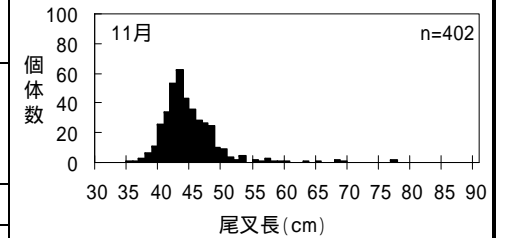
## [竿釣りカツオ]

11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは23.0トンで前年同月(24.2トン)の95%であった。魚価は428円/kgで前年同月(414円/kg)を上回った。

漁場は33-33.5°N、139-139.5°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、小(尾叉長43cm)を主体に、極小(尾叉長42cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(トン)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R2年11月上旬	12.9	10	1.3	418
中旬	6.5	4	1.6	451
下旬	3.6	1	3.6	425
R2年11月計	23.0	15	1.5	428
R元年11月計	24.2	17	1.4	414
H30年11月計	16.9	16	1.1	303



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## [定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は155.8トンで前年の同漁場の水揚げ量(155.1トン)の1.0倍であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、22.3トンで前年(25.9トン)の86%、平年(39.0トン)の57%であった。水揚げ量の多い漁場は、北川漁場(35.3トン、さば類、スルメイカ、オアカムロ)、次いで伊豆山漁場(32.9トン、ブリ、さば類、シイラ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は38.1トン、前年比1.3倍、平年比54%で、ゴマサバ主体であった。ブリは18.0トン、前年比34%、平年比1.8倍であった。水揚げされたブリは銘柄わかし主体で、16.0トン、前年比31%、平年比5.4倍であった。ウルメイワシは15.2トン、前年比2.8倍、平年比1.8倍であった。マルソウダは13.0トンで、前年比88%、平年比38%であった。オアカムロは7.4トンで、前年比1053.1倍、平年比1.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では北川漁場が37%(14.0トン)、川奈漁場が18%(6.7トン)、赤沢漁場が14%(5.1トン)、ブリでは伊豆山漁場が59%(10.7トン)、古網漁場が14%(2.5トン)、ウルメイワシでは古網漁場が61%(9.3トン)、伊豆山漁場が17%(2.6トン)、マルソウダでは北川漁場が22%(2.9トン)、川奈漁場が18%(2.3トン)、古網漁場が17%(2.2トン)、伊豆山漁場が15%(2.0トン)、富戸漁場が15%(1.9トン)、オアカムロでは北川漁場が42%(3.1トン)、川奈漁場が34%(2.5トン)、富戸漁場が20%(1.5トン)を占めた。

\*平年:昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	38.1	1.31	0.54	北川、川奈、赤沢
ブリ	18.0	0.34	1.82	伊豆山、古網
ウルメイワシ	15.2	2.81	1.83	古網、伊豆山
マルソウダ	13.0	0.88	0.38	北川、川奈、古網、伊豆山、富戸
オアカムロ	7.4	1053.14	1.18	北川、川奈、富戸

**[サバ棒受網・たもすくい]**

小川港所属の棒受網漁船は上旬から中旬は棒受網主体、下旬はたもすくい主体で操業した。漁場は上旬から中旬は三本、下旬は大島南部に形成された。水揚量はゴマサバ 241 トン(前年同月比 7.1 倍)であり、1 隻あたり水揚量は 13.4 トン(前年同月比 6.4 倍)であった。マサバの水揚げは無かった(前年同月水揚無し)。

1kg あたり平均単価はゴマサバは 107 円で前月(97 円)を上回り、前年同月(128 円)を下回った。水揚げされたゴマサバの体長組成は 33cm にモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2 年 11 月上旬	-	55	2	4	-	14.8	-	120	三本
中 旬	-	170	4	8	-	21.3	-	103	三本
下 旬	-	16	3	6	-	2.6	-	103	大島南部
R2 年 11 月 計	-	241	9	18	-	13.4	-	107	三本、大島南部
R 元年 11 月 計	-	34	5	16	-	2.1	-	128	三本
H30 年 11 月 計	-	397	9	23	-	17.3	-	102	三本、三本

\* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\* 表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

**[サクラエビ船曳網]**

令和 2 年の秋漁は 11 月 1 日が初漁日であった。11 月の出漁日数は 9 日、水揚量は 58.2 トンであった(前年同月の出漁日数は 11 日、水揚量は 51.8 トン)。主漁場は焼津沖から相良沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成は 31mm 付近にモードを持つ当歳エビと 38mm 付近にモードを持つ 1 歳エビから構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R2 年 11 月上旬	28.9	4	焼津沖~相良沖
11 月 中旬	21.3	3	焼津沖~相良沖
11 月 下旬	8.0	2	焼津沖、相良沖
R2 年 11 月 計	58.2	9	焼津沖~相良沖
R 元年 11 月 計	51.8	11	焼津沖~相良沖
H30 年 11 月 計	-	-	-
H29 年 11 月 計	168.8	11	焼津沖~大井川沖

\* 水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[シラス船曳網]**

県内主要 6 港における 1 か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が 157kg/統、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が 152kg/統であった。主要 6 港全体では 155kg/統と前年同月(82kg/統)の 1.9 倍、平年同月(過去 5 か年平均:302kg/統)の 51.2%であった。また、水揚量は 184.4 トンで前年同月(52.9 トン)の 3.5 倍、平年同月(412.3 トン)の 44.7%と、前年同月を上回り、平年同月を下回った。平均単価は 1,114 円/kg と、前年同月(936 円/kg)の 1.2 倍、平年同月(759 円/kg)の 1.5 倍と、前年、平年同月ともに上回った。

シラス水揚量(主要 6 港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	1 か統当たり水揚量 (kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	4.9	6	40	123	926
舞 阪	26.5	7	190	140	1,048
福 田	25.6	7	181	141	912
御前崎	19.8	9	96	206	956
吉 田	54.4	13	363	150	1,066
静 岡	53.2	15	322	165	1,369
R2 年 11 月計	184.4	57	1,192	155	1,114
R 元年 11 月計	52.9	38	645	82	936
H30 年 11 月計	363.1	79	1,631	223	1,132

\* 各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\* 平年同期:過去 5 か年(平成 27~令和元年)平均値

\* 1 そう曳きの場合は 1 隻で 1 か統、2 そう曳きの場合は 2 隻もしくは運搬船を含んだ 3 隻で 1 か統とする。

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、伊東港では 70.5 トン(前年同月比 99.3%、平年同月比 74.6%)、静岡港では 0.01 トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比 13.0%)、沼津港では 4.2 トン(前年同月比 8.6 倍、平年同月比 3.4%)、小川港では 3.2 トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比 3.9%)であった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網 7 か統の水揚量は、マイワシは 4.7 トン、カタクチイワシは水揚げが無かった。  
\* 平年:過去 5 か年(平成 27~令和元年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

11 月 4 日 ~ 11 月 6 日	地先定線観測調査	(3 日間)
11 月 10 日 ~ 11 月 11 日	いわし類卵稚仔分布調査	(2 日間)
11 月 16 日 ~ 11 月 17 日	キンメダイ食害調査	(2 日間)
11 月 18 日	MaO1 調査(調査機器動作確認)	(1 日間)
11 月 19 日	MaO1 調査	(1 日間)
11 月 24 日 ~ 11 月 25 日	サクラエビ音響調査	(2 日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ  
 パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>  
 携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>  
 右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と  
 関東・東海海況速報を見ることができます。

